



三浦日本投資クラブ

朝 情 報





■ マーケットレビュー

東証グロース市場指数 846.29 -27.65 / 売買高 1.21億株 / 売買金額1,138億円
東証グロース指数 660.27 -22.97 / 売買高 8,928万株 / 売買金額988億円 昨日のグロース市場は、グロース指数とマザーズ指数でした。それらは大幅に下がり続けている。上昇銘柄数は80銘柄、下降銘柄数は453銘柄、変わらずは13銘柄だった。昨日の成長型市場は終日苦戦が続いている。

13日の米国市場で、ダウ・ジョーンズ工業の平均株価指数は39.15ポイント上昇し、33670.29ポイントとなった。一方、ナスダック指数は166.99ポイント下落し、13407.23ポイントとなった。シティグループ（C）やJPモルガン（JPM）などの銀行は、好調な財務業績に注目され、市場は上昇した。その後、ダウ・ジョーンズ指数はボーイング社（BA）の株価が下落したこと、および10月のミシガン大学の消費者信頼指数が悪化したため、一時下落したが、依然として堅調に維持している。

一方、ハイテク市場は利上げ期待の強さから軟調な展開が続き、売り買いが交錯した。こうした米国株式市場の動きを無視して、昨日の東証グロース指数は大幅続落。グロース市場の時価総額上位銘柄を中心に構成される東証マザーズ指数と東証グロース市場コア指数が真っ先に売られた。その後、相場は終日軟調に推移し、改善の兆しは見えない。

■ 今日の注目です

下方特に注意すべきポジションは10月10日の安値で、これが反転の兆候の始まりである。これらの日々は下落しているが、まだ安全な範囲内にあり、今日は上昇するかどうかに焦点を当て、上方の抵抗レベルは32000の近くにある。